



梅雨の晴れ間の美しい青空に夏らしさを感じる時期となりました。日増しに暑くなっていますが、梅雨冷えの肌寒い日もあります。気候の変化で体調をくずされませんようお過ごしください。今月号では「中学校職場体験学習」と「スリット式堰堤」、村内で活躍する「働く女性」にスポットを当てた記事「ワーキングウーマン」の第5弾をご紹介します。

▼中学生職場体験学習▼

5月15日に駒ヶ根市赤穂中学校より長谷部くん(2年生)、5月22日は伊那市の春富中学校より伊藤くん(2年生)、伊那市西箕輪中学校より伊藤くん(2年生)が小渋川砂防出張所の業務を学習しました。当日は、塩川床固工群工事(15日)と滝沢第2砂防堰堤工事(22日)の現場に行き、岡本所長の代わりに監督業務の一部を学生がお手伝いしました。

小渋川砂防出張所事務室で岡本所長より大鹿村の地形や昭和36年に大きな災害があったことと砂防事業の役割について、大鹿村歌舞伎など村の特性もおりまぜての説明があり、学生たちは身を乗り出して聞き入っていました。



塩川床固工群工事での長谷部くんの体験



塩川第2砂防堰堤での2人の伊藤くんの体験



床固工や護岸工に曲線構造を取り入れたことや、構造物の果たす役割、床固工群工事の多年に渡る計画についての説明を受けると、この工事はどのくらい期間を要するのかなど、長谷部くんが積極的に質問をしていました。



最初に春富中学校の伊藤くんが検測中



ズルしていない
いかちゃんと
しらべてね～



交代して、
西箕輪中
学校の伊
藤くんが
検測確
認中

現在、始まったばかりの砂防堰堤工事の現場で、現場の担当者からどのようなものを作るのか説明を受け、構造物撤去前の立会確認の体験をしました。所長に変わって学生たちは、撤去するガードレールの寸法を計測しました。その時、現場担当者があてている巻き尺にたまるみがないか適正であることを確認して、岡本所長に検測結果を報告していました。当日は日差しが強かったので現場業務は大変でしたが学生はテキパキと監督業務を行いました。

【スリット堰堤とは？】



堰堤は、土石流で上流から運ばれた土砂や流木をせき止め下流域での災害を防止、または軽減する役割を担っています。以前は、コンクリートで土砂を止めることだけを考えていましたが、現在は環境（魚道等）に配慮したスリット型（間が空いている）を採用しています。現在、大鹿村の塩川上流域にスリット型の堰堤を建設中ですが、その他に小渋川流域では、地獄谷沢、持社沢の砂防堰堤で採用されています。



スリット堰堤を設けた場合でも
普段は水と土砂は下流に流れます。



土石流が発生したとき、大きな岩、流木などを含む土砂は堰堤が止めてくれます。



堰堤にたまった土砂や流木は、次の土石流に備えて取り除きます。



女高にあるコンクリート堰堤



持社沢砂防堰堤です。堰堤の中央部が丈夫な格子状の鋼管（スリット部分）でできており、土石流を受け止めます。

これなら土石流も止めるし魚も通れる♪



大鹿村の働く女性

【第5弾】

ワーキングウーマン

大鹿村役場 保健師

大鹿村に来て2年目、保健師としても2年目になりました。普段の仕事は、健康診断のときに保健指導をして生活習慣の改善を促したり、乳幼児健診をして子どもたちが順調に成長発達できるようなお手伝いをしています。



今村 早希さん
いまむら さき



現場の安全教育訓練や大河原砂防安全協議会合同安全大会など講師として講演をして頂いております。その他で女性による現場安全パトロールへの参加にも積極的に協力して頂いております。

新規工事情報

着工前

完成



このように道路に流出した土砂等を撤去したりする維持工事です。

平成30年度 天竜川水系小渋川管内整備工事

この度、小渋川管内整備工事を施工を行うことになりました。工事期間中は地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、安全第一で工事を進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

現場代理人
藤本 賢太郎

現場員
吉沢 潤一



KOIKE 小池建設株式会社
Civil Engineering

本社 TEL 0265-28-8100